



「ゆりの木祭を終えて」

教頭 内川 雄介

ゆっぴー はっぴー

今年も残すところあと1週間となりました。本校では保護者の皆様ならびに地域や関係諸機関の方々と連携し、新しい生活様式を着実に実行しながら、日々の教育活動に取り組んでいます。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

さて、11月には昨年度実施できなかったゆりの木祭が学部ごとの分散という形で実施されました。中心となったのは、各学部、ブロック、学年のステージ発表です。このステージ発表をご覧になった保護者の皆様はどうお感じになったのでしょうか。連絡帳等を通して「参観できる機会があり、よかった。」「子どもに合った活動が用意されていた。」「感動した。」等多くのお褒めの言葉をいただきました。一方で「児童生徒本人の可能性を引き出し切れていないのではないか。」等の厳しいお言葉もいただいております。児童生徒一人一人の実態を見極め、一人一人の実態に見合った活動を設定することは容易なことではありません。それでも日々の教育活動を通して子供たちの好きなこと、出来ること、苦手なこと等を把握し、活動内容を設定していく必要があります。コロナ禍において行動も制限される中ですが、教職員の知恵を結集させることで、価値のある教育活動を展開していきます。ご家庭でも本人の興味・関心の幅が広がるような経験を積んだり、出かけたりするような機会を作っていただけると幸いです。

今年は全校で歌うことはできませんでしたが、ゆりの木祭には「ゆりの木の下に」というテーマソングがあり、私も大好きな曲です。2番の歌詞には「作りだそうよ 祭りの舞台 大人も子どもも 楽しい祭りを まぶしい光が ゆりの木を照らすよ」という一部分があります。ゆりの木祭に限ったことではありませんが、学校、保護者を始めとした関係者が協力し、子供たちの良さを引き出し、スポットライトを当てられればと思います。

また、先日の学校自己評価に係る保護者アンケートにも御協力いただきありがとうございました。こちらをよりよい学校づくりの参考にさせていただきます。

学校は、保護者の皆様の厳しくも温かなご意見により、教育力・学校経営力が向上していきます。学校と家庭が互いに信頼し協力することで、さらに良い学校を目指してまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。